

神戸市立高等学校教職員組合との交渉議事録

1. 日時：令和4年7月26日（火）16：30～17：30
2. 場所：教育委員会会議室
3. 出席者：
（市）教育委員会事務局総務部教職員課長、労務制度担当係長、他1名
（組合）執行委員長、副執行委員長2名、書記長、書記次長2名、他8名
4. 議題：2023年度要求書の提出について
5. 発言内容：

～要求書の手渡し～（組合から市へ）

（組）日頃より神戸市教育の充実と発展に御尽力されていることに心より敬意を表します。さて新型コロナウイルス感染症は、第7波に突入したとみられます。学校では引き続き感染症が広がらないように気を配りながらの教育活動を継続しています。本年度も市高組合員のさまざまな要求を今日お渡しした冊子にまとめました。

学校現場においてわたしたち教職員は、一人ひとりの子ども・生徒・学生の心身ともに健やかな人間的成長を願い、社会に出て活躍できる力を身につけさせるために様々な取り組みを進めています。教育行政の大事な役割はこのような現場の運営をバックアップして、さらに教育条件の整備に努めることにあると思います。教育の自主性と独立性を守るために、神戸市教育委員会が子どもたちの目線、学校現場の目線で奮闘されることをお願いしたいと思います。

子どもたちの「学びたい」という気持ちに応えられる、質の高い学習を実現する施設設備の充実した魅力ある学校園づくりが強く求められています。一方、教育現場では慢性的な多忙化で健康被害が深刻な状況にあります。教職員は言うまでもなく身体が資本です。その仕事は簡単に代替できるものではありません。新型コロナウイルス感染症防止対策も含め、教職員の健康と安全を守り、活力をもって働くことのできる職場環境の実現を強く求めます。2023年度より定年引上げが予定されていますが教職員の勤務の実情を踏まえることが重要です。勤務労働条件について組合としっかり協議することをお願いします。

今年3月に、兵庫県教育委員会が「県立高等学校教育改革第三次実施計画」を発表し、7月14日に統廃合対象の県立高校が発表されました。神戸市では一昨年、市立高校の今後のあり方についての提言が市長に提出されていることと合わせて、今後の動きに注目しています。そして高専の運営母体が独立行政法人へ移行されることについては高専現場へスムーズに情報を提供し、そして現場教職員と協議を尽くして意見を吸い上げていただき、高専教育がさらに発展、充実するように、関係部局に働きかけていただくようお願いしたいと思います。また市立幼稚園の在り方についての議論にも注目しています。神戸市がこれまで

培ってきた、市立幼稚園、高校、高専の特色ある教育を市の財産として、さらに継続そして充実させるようお願いしたいと思います。

厳しい財政状況の中ではありますが、生徒や保護者の実態も踏まえた学校の現場の切実な要求ですので、実現に向けて最大限の努力をするよう強くお願いします。

(組) 全体要求について時間の都合上、かいつまんで全体要求について説明いたします。

まず、P1 賃金・諸手当・労働条件についてです。1～5. について。定年引上げに伴って、暫定再任用職員、現行の再任用職員と現職が混在する状況になります。市労連交渉事項と片付けず、知識、技術、経験がある中堅と高齢期教員の適正な処遇と様々な課題について、市高の要望をしっかりと受け止め、行財政局に積極的に要望してください。

6. 特殊業務手当についてです。現在の入試手当が業務の評価として適当なのでしょうか。神戸市は独自で単価を上げることができないと昨年度も回答していますが、入試手当の増額はもちろん、支給範囲の拡大、業務の軽減等が必要だと考えています。大会引率手当の対象の大会を限定しないことも含めて、神戸市独自での検討をお願いします。

9. 常勤講師の待遇改善についてです。市立高校や幼稚園の常勤講師の初任給は、他校種ならびに県立高校より低く、青年層の常勤講師の処遇改善が喫緊の課題と考えます。常勤講師の2級格付けの改善を求めます。学校園では、常勤講師の確保にたいへん苦勞しています。

11. 人事評価についてです。評価を受け、勤勉手当に反映されるのに、評価基準、特に区分への相対化がブラックボックスです。客観性、納得性がさらに高まる工夫をお願いします。そのために年代別の相対化を要望していますので、ぜひ検討をお願いいたします。

12. 超過勤務解消についてです。神戸市人事委員会は教職員の長時間労働の改善について触れています。しかし、割振変更や週休日の振替も十分にできていない状態であり、意識改革ではどうしようもない状況と思っています。ぜひ制度の拡充とともに利用しやすい工夫を責任もって対策・対応していただきたい。

(3) 割振変更制度に関してです。超勤の上限規制では、限定4項目以外も時間外在校時間に入っています。割振変更の適用対象業務を拡大すべきと考えています。(4) (5) KIIF、ICTに関してです。KIIF3を含むICT環境の不具合や遅れによって、業務が増大しているだけでなく、授業にも影響が出ていることが報告されています。設計、改修の初期段階から教員の要望を聞いていただきたい。特に、視覚障害を持つ教職員にとって、今のシステムはたいへん使用しにくく、仕事も進まず、改善の要望をしても無駄という無力感があるという声を聞いています。(8) (9) (10) に関してです。昨年1月の高校教諭級の給料見直しの交渉における市教委の回答「制度面の拡充に加え、制度を取得しやすい条件面の整備について精力的に検討する」を早期に実現していただきたい。

14. 入試業務についてです。入試業務の軽減等について県教委と協議したという内容と改善点の情報をいただきたい。今年度もコロナの影響で、入試業務の負担は増大することを危

惧しています。また、オンライン出願など神戸市の中学校と市立高校との間での入試事務の軽減ができるのではないかと考えています。業務改善の1つと考えています。

P3 教育制度・教育予算にまいります。2. 学校運営についてです。実際に動くのは私たち教員です。ていねいな学校運営を行い、多くの教員の理解を得るよう管理職に対して働きかけを引き続きお願いします。

3. についてです。神戸市をあげて市立学校園では特色化を推進してきました。その教育水準を落とさないよう工夫していただくとともに、教員の負担増で教育水準を維持することのないよう要望します。これは、賃金・労働条件の 21. 高校教員の持ち時間の要求とも関連しています。

4. 学級定員についてです。小学校標準法改正の付帯決議に高校の学級編成のあり方を検討とあります。ぜひ定数法改正を国へ働きかけるとともに、神戸市独自の施策を検討してください。

7. 以降の教員定数や教育予算についてです。教員が減ることは、私たちの業務が増えることにつながる切実なものです。教員の多忙化をさらに進めるものと考えています。また、教頭複数配置で教諭の定数を使うこと、再任用短時間勤務が定数に入っていることは多忙化解消が進まない原因にもなると考えます。また、幼稚園を含め各学校園はそれぞれ特色を持ち、その特色を活かすために、教員の数や予算の配慮をお願いしています。人と金が減ることは、労働環境低下と教育水準低下につながり、特色を維持しようとすれば、教員の多忙化につながります。定数確保・教育予算確保への努力を強くお願いいたします。

19. 部活動についてです。神戸市においても、部活動によって超過勤務時間が減少しない一因となっています。一方、高校においては、部活動が特色であるということもスポーツ庁・文化庁は発言しています。部活動に対する教員の負担軽減、および部活動の振興・支援の両面の配慮をお願いいたします。

20. 奨学金の事務についてです。奨学給付金および日本学生支援機構奨学金申請に係る事務について、就学支援金申請と同様に補助事務スタッフ派遣などの工夫をして下さい。1 学期後半、担任や担当は、授業準備や成績処理を後回しにするなどたいへん困っています。手続き説明会に教員が出席しているのは神戸市立だけと聞いています。また、マイナンバーなど個人情報を教員が預かるという大きい負担を強いており、「この仕事はしたくない。限界だ」という切実な声を毎年聞いています。業務改善のひとつとして切にお願いいたします。

順番は逆になりますが、16. 外窓、外壁清掃および 22. 以降の施設設備についてです。現在、学校園では高所の外窓・外壁清掃が禁止され、計画的な清掃をしていただかないと、教員が身を乗り出して清掃をしなければなりません。他の施設設備の改修も含めて労働安全や衛生面の観点から、市教委の工夫をお願いします。

P4 採用・異動にまいります。まず採用についてです。標準法改正時の付帯決議に、「非正規教員が増加することのないよう、正規教員を計画的・安定的に採用・配置するよう」とあります。また、定年引上げの国の通知にも、「年齢構成が偏ることがないよう、必要な新規

採用を継続するための定員措置」とあります。特に、少数教科・科目の採用について配慮してください。

4. 異動についてです。一昨年度からはじまった新しい人事異動について、検証と検証による改善点が私たちには全く見えません。不本意な異動でないよう、丁寧な説明と対応が不可欠だと考えています。私からは、以上です。このあと、専門部と現場の声を聞いていただきたく思います。困っているそして切実な訴えです。

(組) 幼稚園部です。よろしくお祈いします。幼稚園では事務がないため、一人当たりの教員の負担が多く、休憩時間を取る暇もなく、朝来たら夜遅くまで働く状態が当たり前になっています。既に教員不足で、育休産休はとれるものの、取りやすい環境にはなっておらず、育休産休に入るとその枠をどのように埋めるのかという話になります。パートの先生が入ってくださるが、できることは限られているので、結局主任の先生方の負担になっています。そんな中でも毎年幼稚園の採用人数は減ってきていて、去年は1人になっています。同期がないことで、悩みを出し合ったり、支えあうことができません。採用されても1年2年でお休みになることもあります。かといって代替にも当てがないと聞いていますが、そもそも正規職員の採用が少ないと思います。正規の職員を増やしてもらいたいと思います。最低でも正規職員を2名はおいていただきたいと思います。以上です。

(組) 高専から2点お祈いささせていただきますと思います。よろしくお祈いします。2点のうち1点ですが、高専の独法化に関する、あり方検討会で提言された趣旨に沿った計画に関係者の方々に不安のないように丁寧な説明をお祈いしたいと思います。地域共同を行う中で色々な人とお会いしますが、高専がどうなるのかといった声もありますので、よろしくお祈いします。第2点ですが、これまでいろいろな経緯から先送りにされてきた事柄をこの独法化前に解決して欲しいということが2点目です。まず1点目について具体的に申し上げます。ご承知のとおり、昨年3月30日にこの会場であり方検討会が行われまして、本校から校長・校長補佐・副校長・事務室長の4名が出席させていただいて、神戸高専の現状と課題を報告させていただいております。内容は施設設備の老朽化・他大学や他高専には必ず設置されているテクノセンターのような地域共同拠点の未設置ということでございました。そして第2回以降はそれらの課題を解決するためということで独法化が提言され、また何度ももわたり独法化後も神戸市が設置したとして責任をもって必要な予算を手当することが必要であるということが語られ、最終報告書にも盛り込まれております。公立大学法人の中期計画改定案では施設・設備の充実と更新という言葉は含めていただいているが、地域共同の拠点ということでテクノセンターには言及がないということで、ぜひともあり方の趣旨に沿って神戸の新規の企業の方々が誤解にならないような丁寧な説明をお祈いしたいということであります。2点目は2007年の給与改定時に号給対応表に間違いがあったという点でございます。過去にもお力添えをいただいて、確かに間違いがあったが、ただ条例

上なので次回の改定時にという話を頂戴しているが、今回独法下であらたな給料表を作成する際に修正するようお願いしたい。また、初任者格付けの間違いによって著しく均衡を失った、同年代の方々と比べてはるかに低い給料という被害を受けておられる方の改善をお願いします。税金を動かすことですからインプットなしにアウトプットは出ないということで、今年、措置要求も準備をさせていただいております。この機会に措置要求というインプットを受けてぜひこの機会に改善をお願いしたい次第でございます。以上です。

(組) 女性部です。色々とこれまでもご理解いただいて前進してきましたが、やはり子育て支援・介護を担っている男性が多くなってきているものの、やはり女性が担っている部分大きい。これまでお願いしてきたことを進めていただくとともに県の制度と差があるということで、そのあたりの基準を調査いただき、より良い基準にしていきたいと思います。子育て・介護について、男性がより女性と共働できるよう、例えば新聞を拝見すると芦屋市では男性がおむつを替えたり、ミルクを作ったりする研修会が開かれています。そういった男性にとっても子育て、介護を担える時間的なゆとりやスキルを付ける研修を実施することも女性支援につながると思っています。また子育て・介護のみではなく、多様なキャリアを持つ女が活躍できるような仕組みも作っていただきたいと思います。教職員は長時間勤務・過密労働で女性は疲弊しています。その中で介護、子育てに従事している女性のみでなくすべての女性教員が生き生きと教育現場で働けるような仕組みづくりを考えていただきたいと思います。以上です。

(組) 六甲アイランド高校分会です。分会の要求について、かいつまんでお話をさせていただきます。ICTについて教員、生徒双方が不便を感じていることを訴えさせていただきます。3点に分けてお伝えします。1つは、1学年が同時に接続しても通信に堪えない容量である環境であることです。3学年がいてそれぞれが使用すると繋がらなったり固まったりすることが日常的に起こっています。このままでは無用の長物です。2つ目ですが、他教諭より少しICTに詳しい教諭がGIGAスクール推進委員になっていることが気の毒です。具体的には業者がやるようなメーカーとの交渉の間に立ったりされています。また生徒の多種多様なデバイスやOSに個別に対応することなどについて学ばなければならず多忙を極めています。3つ目についてですが、学事システムについてシステムの関係で業務が滞っています。Edgeに変わった際に学事システムが止まったりしています。月に2、3度くらいはシステム担当が学校に呼び出され、その場で対応できない場合は回答を持ち帰りそのまま2、3日その状態が続くことも当たり前のように発生しています。

3つ出させていただきましたが、どうしてほしいか難しいですけども、まずは不具合が発生することを前提として紙媒体を準備していただきたいと思います。授業の効率化の前にICT環境が整わない中で現場がお尻を叩かれています。それでも何とかいいところや使い道を探している先生方が理不尽なクレームにより意欲をそがれる状況にありますので、まずはICTに

関する特別な人員が必要だと思えます。生徒への対応にたくさんのパターンがある中ですべてを現場の教員に対応させることは無理だと思えますので、学校園が ICT をスムーズに使える環境を整えていただければと思えます。

(組) 葺合分会です。よろしくお願いいたします。全体と重複する部分以外で補足させていただきます。本校は比較的校舎が新しく、生徒、保護者、あるいは学校見学に来る中学生に好評でこんな校舎で学びたいという声もありますが、廊下の床の一部に鉄骨が浮き出てきております。また床が剥げて穴が開いているところもあります。こういった状況がいくつも見られます。校長とも相談し、学校としても要求を上げていきますが、校舎全部の改修となるととても校内予算では間に合わないと思えますので、ぜひ何らかの維持管理メンテナンスの対応をお願いいたします。

(組) 科学技術分会です。まず、実習機器更新予算の継続配当を行ってほしいという項目です。科学技術高校では実習機器は4台ありまして、ISOに準拠するなど更新が必要になってきております。コンピューター関連については、工業系で使うものと一般的なものは異なる使い方をしますので、工業系独特であるかと思えますが、よろしくお願いいたします。また、産学・高大連携の関係で企業とやり取りすることもありますので、学生のメールアドレスを用意する必要があるかと思えます。企業とのやり取りがオンラインとなっているので生徒が学校で使うアドレスを用意する必要があるのではと思っています。次に2番の施設・設備についてですが、今年度LED更新により、ほとんどがLEDに変えていただき、お礼を言わねばと思えます。それとエアコンも20年近く使っている機器になりますので、すべてを一気にとは予算的に厳しいと思えますが順次更新いただければと思えます。よろしくお願いいたします。

(組) 神港橋分会です。記載内容を補足して説明させていただきます。1つ目は多機能トイレの改修をあげさせていただいております。本校は3年生に車いすの生徒が2名、1年生に身体的なハンデキャップを持った生徒が1名在籍しています。現状としては車いすの生徒がトイレをする際に教員が抱きかかえて椅子に座らせるようにしております。トイレの横に手洗い場があるので近くに車いすを付けられない状態です。本校は体の不自由な生徒も受け入れており、これからも入学が予想されますので、改修いただければと思えます。2つ目の要求としてはGIGAスクールに伴うiPad導入とICT教室に関する諸課題です。学年全員がつないだ時に回線が混雑し動かなかったことがあります。今年度からiPadが導入されたのでさらに回線が混雑するのではとの懸念があります。不具合があった際には対処をお願いいたします。校舎の整備ということで最後に挙げさせていただいております。車いすの生徒が通りづらい箇所が何か所かあります。車いすの生徒だけでなく、教員や生徒が道ではない場所を通ったり、防球ネットで通れない等、安全面でも不安な箇所がありますので改修してい

ただければと思います。もう一点、北館3階に避難経路になっていますが、内鍵になっていないので外からしか開けられず避難経路としてどうなのかとの声も上がっているのです、考えていただければと思います。最後に開校当初、全面土足禁止にしようとの声がありましたが、なかなか下駄箱の場所がなかったりと実際にはできてこなかったのですが、将来的には土足禁止にしたいとの声があるので、下駄箱のスペースを確保いただくなどしていただければ助かります。

(組) 須磨翔風分会です。ご存じのとおり本校は総合学科の学校で生徒の興味関心、将来実現のため特色ある教育課程を設けています。7限の授業が終わるのが16時です。そこから生徒への評価や生徒指導、保護者への対応、部活動といったその日のうちに対応しなければならぬことがたくさんありますが、我々の勤務時間は8時15分に始まり17時までの予定です。単純に考えて授業は16時に終わり、業務終了時刻が17時ですから残された時間は1時間。その1時間のうちに先ほど申し上げたすべての対応を終えることは不可能です。必然的に職場に残った残業、さらには持ち帰った残業、さらには昼休みなどありません。昼食はなにか作業をしながら5分間でのどに流し込み終了。その後も休むことなく働き続けといった長時間過密労働の状況が毎日続いています。土日も部活動の対応です。教員の働き方改革が言われて久しいですが、ほぼ全く改善された覚えがありません。私たちの職場は聞くところによるとブラックに加えて、最近働かせ放題のサブスク教員と言われていると言っている先生方もおられます。まさにその通りの状況です。そんな状況の職場を未来ある希望に満ちた仕事と思い選ぶ若者がいるのでしょうか。今ここで指摘している実態は現在そして未来に直結する問題だと真剣に向き合っていただきたい。働き方改革への対応として実施されている研修等で引っかかることがあります。多忙なのは教員の個人的な仕事のやり方や多忙感というとらえ方に課題があり、それを見つめ直し改善しましょうというグループワーク等と呼びかける。そういった研修に参加された先生がそもそもおかしいと言って帰ってこられました。本来業務というものは終業時間に完了するという点を起点に内容が定められ、物事が形作られるというわけで、今業務とされている内容それ自体が天井知らずの過剰で、教員も一人の生きた人間ですから当然ながら仕事をする量には限界があります。オーバーフローしている。それが現場の実態です。文科省が進めているように教員の本務は何なのか、市教委でも整理し、市教委が教員の本務の整理を進めていただきたい。教員が本務である子供たちの教育活動に慢心できる教育環境を整備していくべき主体である。そして我々最前線で教育活動に向き合っている教員にその姿勢を明確に示し、具体的な形で適用していただきたい。私たち教員により良い授業づくりのための時間と環境をください。次から次へと押し寄せてくる雑多で膨大な作業の中で今一番犠牲にしているのは授業にかける準備や教材開発のための時間です。先日若手や異動してきた先生がつぶやいていました。もっと教科指導のため、勉強するための時間が欲しい。

一言現場の実情をお伝えしておきたいと思います。既に書記局を通じて市教委にお伝え

させていただいていること以外に今回真剣にお考えいただきたいことを1点あげて、私からの話を終えたいと思います。新規採用された教諭がこれまでに管理職による不適切な誠実さに欠ける対応によって体調不良となり、ようやく異動してきた先の本校で意識を失い倒れました。それ以前の並々ならぬ心労と無理されてきたことが要因です。その後私たち同僚や職場の先生方のサポートで何とか今日に至っていますが、不調に至る原因を作ったのは当人ではありません。私たちの命と健康、いきいきとした教育活動を後方から支えるのは誰でしょうか。現場の管理職、そのまた後方にいる市教委の方々は本当に我々のことを考えてくれているのでしょうか。振り返ったら誰もいないといったことになりうるのではないかと不安を覚えています。つなぐ提案箱の市教委からの回答に時々冷たさを感じます。教育現場の切なる思いや、真意が届いているのでしょうか。問題を指摘し、改善解決を要望する声や人を面倒くさいと遠ざけてはいないでしょうか。聞きたい人の聞きたい話だけを聞いているのでしょうか。そうした管理職あるいは市教委に対して不快な声があることも事実としてお伝えさせていただきます。管理職、市教委の方々に我々現場の最前線で教育活動にあたっている教諭の声をきちんと聴いて向き合い、実効性のある現場の課題の解決、そして抜本的な改善を早急をお願いしたい。以上が私と分会長そして分会の皆さんの意見を吸い上げて、みんなで練り上げた原稿を代読させていただきました。以上よろしくお願いたします。私たちは人間です。どうぞよろしくご検討ください。お願い申し上げます。

(組) 神戸工科分会です。私の分会のからは5点あげさせていただいております。本校は夜間定時制の工業高校になるのですが、ここ最近では、中学で不登校、欠席日数3桁の生徒がたくさん入ってきております。特別な支援を要する生徒も入学してきております。また最近では子供のケアのケースが増えてきて、本人は困り感がないですが、実情を聞いていると、その子だけが家を回しているという現状もあります。そのような生徒に対応していける学校になっていかなければと思っておりますので、そういう意味でも施設設備、人員増などを御検討いただければと思っております。3番です。本校もパソコンをつかう授業がたくさんあります。中でもパソコンを使って図面を書いて三次元で処理をするということも行っておりますが、昨年度のKIIF3の更新によって処理に2時間3時間かかるような状況になってきております。授業が成り立たないこととなりますので、学校園全てを一律に更新するのではなくて、各学校の特色がありますので、その授業も考えていただいたうえで、授業に見合ったパソコンを現場に聞き取りしていただければと思っております。

(組) 摩耶兵庫分会です。1番に記載のとおり、一昨年度よりグラウンドを人工芝にするように学校を上げての要求しております。今、コンクリート製のグラウンドで雨が降ると滑り危険です。多額の予算が必要になると思っておりますので分会としても1番にあげさせていただきました。以上です。

(組) 楠分会です。前の警報の時の雨で1階の南側の3つの部屋が完全に使えなくなっております。校長室は今臨時的に放送室を使っています。第2職員室の先生方は机の引き出しを抜いて、会議室へ行っています。保健室はとても臭く仕事ができない状況です。パソコン自体も浸水しておりその時にはすべて取り替えていただきましたが、そのあと戻れる状況が整っておりません。お願いしたいのは応急だけで終わっていただきたくないということです。応急処置で終わらず、復旧までしていただきたい。もう一つは机自体も取り替えていただきたい。水が入っており、机もカビが出ています。それを使えというのはあんまりだと思います。予算の問題もあると思うが施工に了承を出したのは委員会なのでそこも考えて、抜本的な対策をお願いします。以上です。

(組) 盲学校分会です。当分会からは全体要求の2ページの上行の左側(4) KIIF3について視覚障害を持つ教職員の意見を改善に反映させることとありますがこれについて補足させていただきます。本校の作業の特徴は2点あります。1点は視覚障害の児童生徒に対して、拡大文字、超拡大文字、点字といった段階的な文書を作成し配布する。これが必須の業務です。もう1点は教員にも視覚障害を持つ方が複数名いらっしゃいます。そういった教員も拡大文字等を使って事務をしております。書かせていただいておりますとおり、KIIF3等によってなかなか音声ソフト等が入らない事象があちこち起こっております。特に今はKICSで毎日、回覧、通知が来ますが添付ファイルは全盲の職員は見られないという状況にあり、その時点で業務が滞っております。全盲の教員が知恵を絞り、他の教員に協力依頼しながらしのいでいる状況です。時間と労力そして気を遣うということで働き方改革と逆の状況になっているというのが現状です。もう1点申し上げます。点字のプリント作成についてです。点字プリント作成は盲学校にとって非常に大事な業務になりまして、これば点字の職員がするのではなく、クラス担任や授業を持つ先生が点字のプリントを作成する頻度が高まります。点字のプリント作成手順について申し上げます。まず活字原本を作ります、そしてそのデータを点字の翻訳ソフトをかけると、一瞬にして点字にしてくれます。すごく便利ですが、漢字などは不十分な翻訳になります。その部分は編集用ソフトによって編集して、編集したものを点字プリンターでプリントアウトして配布する手順になります。時間がかかります。KIIF 校務系には点字ソフトが入ってないため、学習系でやらなければならない。個人向けのパソコンには編集ソフトはあるものの点訳ソフトは入っておりません。そのため点訳ができません。それでどうしているかという今現状は職員室にあるソフトが入った共有機1台をみんなで使っています。なかなか空いていないこともよくあります。自分のパソコンで編集できるのですが、学期末の生徒の点字の通知簿学習系で編集しています。学習系は大事な事務を行ってはいけないものと思いますがやらざるを得ない状況にあります。盲学校の視覚障害関係の不具合は視覚障害の教員だけの話ではない。周りの健常者の教員も点字のプリントを作らなければならないので、そういった不具合があることは知っておいていただきたい。点字編集ソフトを増やすなど対応していただければありがたいと思います。

ます。

(組) 今学校からそれから専門部のほうから現状をお話させていただきました。それを踏まえて御回答いただけるところがありましたらよろしくお願いします。

(市) 先生方におかれましては、子どもたちのため、日々情熱を注ぎ、本市の教育振興のために大きく貢献していただいておりますことを、厚くお礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策と教育活動を両立させるという、これまでに経験のない非常に困難な状況の中で、学校園の運営に懸命に取り組んでいただき、心から感謝申し上げます。

さて、ただいま、勤務労働条件に関する要求書をお受けし、概要をご説明いただくとともに、各先生方からも現場の実情をお聞かせいただきました。ご要求の内容は多岐に渡っており、現場で直面する様々な問題や課題の多さを実感しております。

特に、学校現場での多忙化対策は喫緊の課題であり、先生方は日々、非常に多種多様な業務に追われ、その結果、深刻な長時間勤務につながっているものと認識しております。

また、先ほども申し上げましたとおり、新型コロナウイルス感染症の対応により、通常とは異なる業務が多岐に渡り発生することとなり、教職員の皆様には多大な負担をおかけしております。

教育委員会としてもこれまで様々な多忙化対策に取り組んでおりますが、皆様のご意見、ご要望をお聞きしながら、引き続き効果的な取組を実施できるよう努めてまいります。

本市の財政状況につきましては、新型コロナウイルス感染症の出現により、感染拡大防止対策や医療提供体制の安定的確保などによる財政需要の増加や、市税・使用料などの減収により、厳しい財政状況が継続しています。

一方で、人口減少・少子超高齢社会、東京一極集中など社会経済情勢の変化による課題に直面しており、with コロナ時代、さらにはポスト・コロナ時代を見据えながら、これらの政策課題の解決に向けて、スピード感をもって取り組んでいく必要があります。

なお、定年引上げや工業高等専門学校 of 独立法人化につきましては、丁寧に説明を行うとともに、勤務労働条件に関することについては、皆さま方のご意見も十分に伺ってまいりたいと考えております。

いずれにいたしましても、本日いただきましたご要望につきましては、ただいまお受けしたところであり、個々の内容について本日はお答えできる状況ではございませんが、従来どおり誠意を持って検討させていただきたいと思っております。皆様方と創意工夫をこらし、お互いによく話をし理解を深めながら、一つでも多くの課題を解決していきたいと考えておりますので、引き続きのご理解ご協力をお願いいたします。

(組) 今各職場の方から生の現状をお話させていただきました。我々の仕事は目の前の生徒

をどうするかが一番大切なところになりますので、そのために全力をかけていくという思いで日々頑張っております。ですから、そんな中でいろんな仕事を抱えながら仕事をしている我々が生徒にかけられる時間、その他の仕事にける時間をどう配分していくのかということが、どこの現場でも1番課題になってきていることかと思えます。体を壊された先生も多数報告されていますし、本当に学期途中で続けられなくなって職場を去ってしまった先生もこれまでに多数おられます。そうなるとう結局、生徒が被害を受けることになるので、今日お話しさせていただいたことが一つでも改善できるように教育委員会の方で検討いただきまして、最大限の努力をお願いいたします。よろしくお祈いします。今日はどうもありがとうございました。